

“日本映画の父” 牧野省三 × “日本最初の映画スター” 尾上松之助  
最古の『忠臣蔵』 [デジタル復元・最長版] 特別上映会  
開催のお知らせ

Shozo Makino, father of Japanese film x Matsunosuke Onoe, the first movie star in Japan  
Special Screening of the oldest *Chushingura* [Digitally restored, the longest version]

開催日：2018年12月14日（金）

平素よりお世話になっております。

この度、国立映画アーカイブでは、“日本映画の父” 牧野省三（1878～1929）と“日本映画史上初の映画スター” 尾上松之助（1875～1926）コンビが放った作品の一本で、現存する最古の「忠臣蔵」映画とされる『忠臣蔵』 [デジタル復元・最長版] の特別上映会を開催します。日本映画最初の全通しの「忠臣蔵」映画として知られる『忠臣蔵』（1910年、横田商会）の姿を、赤穂浪士討ち入りの日に、[デジタル復元・最長版] でご鑑賞いただける貴重な本上映会を、貴媒体でご紹介いたしますようお願いいたします。

## 本企画の見どころ

### 1. 最初の全通しの「忠臣蔵」映画：『忠臣蔵』（1910年、横田商会）の姿を見られます

歌舞伎や講談をもとにした「忠臣蔵」映画は、1907年の『忠臣蔵五段目』（吉澤商店）以後、多数作られました。本作は、日本映画最初の全通しの「忠臣蔵」とされる『忠臣蔵』（1910年、横田商会）で主に構成された、現存する最古の「忠臣蔵」映画です。従来は、後に撮り足したカットも含めて、戦後にアフターレコーディングで作成された[活弁トーキー版]で知られていましたが、本[デジタル復元・最長版]によって、メインタイトルから「南部坂雪の別れ」以降の多くの場面を含んだ現時点における最長版の鑑賞が可能になりました。



### 2. [デジタル復元・最長版]の完成披露上映

以下（１）～（３）の工程を経て作成したデジタル復元の成果を、ご鑑賞いただけます。

（１）３本のフィルムを元素材としてスキャンデータを作成

- ①当館既蔵の『忠臣蔵』 [活弁トーキー版]（43分・35mm・白黒）
- ②マツタ映画社所有の長尺版『実録 忠臣蔵』 [活弁トーキー版]（74分・35mm・白黒）
- ③無声映画保存会から寄贈を受けた可燃性染色ポジ『忠臣蔵』（51分・35mm・無声・染色）

（２）３種の画像を比較し本来の無声映画の最長版を作成

（３）揺れ止め、フリッカー除去、バラ消し等の画像修復、素材の違いによる画質の調整

### 3. 上映回毎に異なる体験をお楽しみいただけます

1:00pmの回は、無声のままご鑑賞いただけます。上映終了後の研究員による解説を通して、デジタル復元と上映作品についての理解をより深めていただくことが可能です。

7:15pmの回は、弁士・伴奏付きの上映です。公開当時の映画館のように、弁士と伴奏のライブパフォーマンスで、映画をご鑑賞いただけます。出演は、「映楽四重奏」（片岡一郎、宮澤やすみ、上屋安由美、田中まさよし）の皆さんです。



## 上映作品

### 『忠臣蔵』 [デジタル復元・最長版]

(90分・16fps・DCP・無声・一部染色) \*冒頭の復元デモを含む

1910-1917年頃(横田商会・日活)(監) 牧野省三

(出) 尾上松之助: 浅野内匠頭・大石内蔵助・清水一角

片岡市之正: 吉良上野介

嵐橋楽: 片岡源五右衛門・立花左近・寺坂吉右衛門・和久半太夫

大谷鬼若: 脇坂淡路守・村上喜剣・そばや親爺

片岡市太郎: 大石主税・そばや倅・小林平八郎

大谷友三郎: 浮橋太夫、水谷芳夫: おりく



牧野省三(1878~1929)黎明期の日本映画に多大な貢献をなし、“日本映画の父”と称された映画監督、映画製作者。劇場の座主から『本能寺合戦』(1908)で映画監督・制作を始め、横田商会と日活で、歌舞伎や講談を題材に映画的特技をいかした多数の劇映画を監督・制作し、尾上松之助を日本初の映画スターに育てた。1921年に独立プロを設立し、阪東妻三郎、嵐寛寿郎、片岡千恵蔵、市川右太衛門、月形龍之介ら多数の時代劇スターやスタッフを輩出。長男はマキノ雅広、次男はプロデューサーの牧野光雄、孫の長門裕之・津川雅彦など映画人一族である。

尾上松之助(1875~1926)本名:中村鶴三。旅芝居の役者から牧野省三に見出されて1909年『碁盤忠信』で映画初出演。以来、旧劇(時代劇)を主に出演作は1000本超とも言われるほど、絶大な人気を誇る日本映画初の大スターとなった。映画的特技をいかした忍術映画や英雄、豪傑ものなどで子どもたちに愛され、「目玉の松ちゃん」の愛称で親しまれた。

### 弁士・伴奏付き上映出演者 映楽四重奏 THE FILMQUARTET

片岡一郎(活動写真弁士)、宮澤やすみ(三味線)、上屋安由美(ピアノ)、田中まさよし(太鼓)により、活動写真を中心に語りや音楽と娯楽の最も重要な要素を幅広くカバーするユニットとして2015年に結成された。活動写真館で生み出された日本独自の演奏形態である和洋合奏の技法を学び、新たな魅力を現代に発信するスタイルは国内外で評価され活躍の場を広げている。

### “日本映画の父”牧野省三×“日本最初の映画スター”尾上松之助

#### 最古の『忠臣蔵』 [デジタル復元・最長版] 特別上映会

Shozo Makino, father of Japanese film x Matsunosuke Onoe, the first movie star in Japan

Special Screening of the oldest *Chushingura* [Digitally restored, the longest version]

#### ■上映日時:2018年12月14日[金]

1:00pm<12:30pm 開場>★1:00pmの回は、上映終了後に研究員による解説があります。

7:15pm<6:45pm 開場>★7:15pmの回は、弁士・伴奏付き上映です。

会場:国立映画アーカイブ 長瀬記念ホール OZU(2階)

定員:299名(各回入替制・全席自由席)

#### ■料金(前売券・当日券)

●1:00pmの回:一般520円/高校・大学生・シニア(65歳以上)310円/小・中学生100円

※障害者(付添者は原則1名まで)、国立映画アーカイブおよび東京国立近代美術館のキャンパスメンバーズは無料

●7:15pmの回【弁士・伴奏付き上映】:一般1,050円/高校・大学生・シニア(65歳以上)840円/小・中学生600円

※国立映画アーカイブおよび東京国立近代美術館のキャンパスメンバーズ料金は当日券のみあり(教職員500円、学生400円)。

障害者(付添者は原則1名まで)は無料

[前売券発売] 11月10日[土]10:00amよりチケットぴあにて前売券(全席自由席・各100席分)を販売します。 [Pコード:559-183]

■掲載用のお問い合わせ先:03-5777-8600(ハローダイヤル)

国立映画アーカイブのホームページ [www.nfaj.go.jp](http://www.nfaj.go.jp)

■本特集の詳細→<http://www.nfaj.go.jp/exhibition/chushingura2018/>

【本企画に関するお問い合わせ・広報素材について】

国立映画アーカイブ教育・事業展開室 担当:富田、碓井、小林

電話:03-3561-0823 FAX:03-3561-0830 E-mail:pr@nfaj.go.jp